

# 第5次レッドデータブック： 絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

## ニッパヤシ

*Nypa fruticans*

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. ニッパヤシ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Nypa fruticans* Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

# ニッパヤシ

*Nypa fruticans*

カテゴリー判定結果 絶滅危惧 I A 類 (CR) 基準 E

10 年間の絶滅確率が 50%以上。

評価分科会： 維管束植物分科会

## 基礎情報

### 【形態】

地上茎はなく、地際を這う太い根茎は二叉分枝し、葉を根生する。葉は硬く、高さ 4-10 m になり、羽状複葉、太い葉柄に多数の小葉がつく。小葉は長さ 1 m、幅 2-7 cm で、線形または線状披針形、先端は鋭尖形、全縁、裏面には褐色の圧毛がある。雄花序は根茎から出て、上向きで長さ 1 m、総状で多数の側枝があり、多数の花をつける。雌花序は球形の頭状花序で多くの苞につつまれて枝の頂につき、径約 30 cm、多数の雌花を密集してつける。果実は多数の核果が集合した大型の集合果で、径 30 cm 以上になる。

### 【生活史】

常緑の小高木。雌雄同株。

### 【生育環境】

マングローブの後方の湿地に生え、密生する群落を作る。

### 【分布域】

琉球（西表島・内離島）、インド・マレーシア・ミクロネシア。

## 現在の生育状況

### 【生育地の現況】

2018 年調査では 1 メッシュで数十個体の現存が推定された。基準 E により CR とした。

## 現地調査の集計結果 2018 年調査

### 【「現存する株数」別のメッシュ数】

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
0	1	0	0	0	0	1	0	0

### 【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1 番目	2 番目	3 番目
要因		

件数		

## 特記事項

特になし

## 旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	ニッパヤシ	<i>Nypa fruticans</i>	CR
第4次 2019:	ニッパヤシ	<i>Nypa fruticans</i>	CR
第4次 2018:	ニッパヤシ	<i>Nypa fruticans</i>	CR
第4次 2017:	ニッパヤシ	<i>Nypa fruticans</i>	CR
第4次 2015:	ニッパヤシ	<i>Nypa fruticans</i>	CR
第4次:	ニッパヤシ	<i>Nypa fruticans</i>	CR
第3次:	ニッパヤシ	<i>Nypa fruticans</i>	CR
第2次:	ニッパヤシ	<i>Nypa fruticans</i>	VU
第1次:	—	—	—

## 都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

沖縄県[絶滅危惧 I A 類(CR)]

## 保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

## 参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2015. 改訂新版日本の野生植物 1. 391pp., 272pls. 平凡社，東京.
- 沖縄県環境部自然保護課，2018. 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版（菌類編・植物編）—レッドデータおきなわ—. 沖縄県環境部自然保護課，690pp.

## アセスメントサマリー（Assessment summary）

*Nypa fruticans* has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Nypa fruticans*

is listed as CR under criteria E.

E. Quantitative analysis showing the probability of extinction in the wild is at least 50% within 10 years.

Threat types:	No Data
Law designation status for conservation	—

執筆者:	日本植物分類学会
Author:	Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025 年 3 月